

平成 27 年度
学校自己評価報告書

平成 28 年 4 月

学校法人八文字学園

 水戸電子専門学校

◆平成 27 年度 学校自己評価について

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校は、創立以来、常に時代のニーズを先取りした実務教育を徹底し、また最先端の教育設備を整え、専門的で実践的な人材を社会に送り出してきました。

本校では、未曾有の自然災害や社会変革に対応できる技術知識を身につけた、真の社会が求める課題対応能力を持つスペシャリストの育成を使命としております。

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として、平成 27 年度学校自己評価を実施し、本校の教職員が更なる教育の質の向上を目的として自校の教育活動その他学校の状況について客観的に評価し、現状の把握、問題点の発見ならびに改善策の検討・実施を行っております。

1. 対象期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2. 実施方法

(1) 自己点検評価委員会による評価

学校長をトップとして学校自己評価委員会を設置し、その規定によって方針を定め、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。

(2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」

(3) 評価期限：年一回年度末

(4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページでの公開しております。

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

1) 自己点検・自己評価の実施

学校関係者委員会の実施に先立ち、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、平成 27 年度自己点検・自己評価を実施しました。自己点検・自己評価の点検項目は、評価項目の達成及び取組状況 11 分類 64 項目です。『平成 27 年度自己点検評価報告書』には、各項目の自己点検実施状況を記載し、自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1、無該当：0）を示し、（1）評価については最高点 4 に対し、自己点検評価委員会により教員の評価平均（少数第 2 位まで）（2）現状および問題点と改善策につきましては、自己点検評価委員会による教員の意見を反映させまとめた『平成 27 年度学校自己評価報告書』を学校関係者評価委員会に提出します。

2) 自己点検・自己評価結果の報告

学校関係者評価委員会では、本書である『平成 27 年度学校自己評価報告書』を用いて、学校関係者委員に対して、各項目の自己点検実施状況及び、自己評価ポイント、現状および問題点と改善策を開示し、自己点検評価に対する評価（学校関係者評価記入シート）を依頼します。

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

◇ 1 教育理念・目的 総合評価 3.28

教育理念 人の育て方 「やってみせ、言って聞かせて、させてみてほめてやらねば人は動かじ」

教育目標 「即戦力となる I T 技術者の養成」のための教育の質的保証と向上

- 重点目標**
1. 資格取得体制の充実により合格率を高めることで専門能力の知識や技術など専門性を高める
 2. コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を通して社会性を身につける

(1) 評価

評価項目		平均評価 (4~1)
ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.38
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	3.38
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.25
エ	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.25
オ	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.13

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教員が評価項目を意識し、向上させ改善を図っていくようしなければならない。
- ・コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、協調性向上を目的とした授業の実践がもう少し必要である。
- ・社会経済のニーズ等を把握する意欲や仕組みが整っていないし、将来構想については、学生や保護者に対し周知する体制を整える必要がある。
- ・資格教育と実務教育の割合と達成率を明確にした方がよい。
- ・「教育」の本来の意味に立ち返り専門学校としてのあるべき姿を考慮する必要がある。

◇ 2 学校運営 総合評価 3.09

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.00
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.00
ウ	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.88
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	3.13
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.88
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.63
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.63
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.63

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教員間の目標共有、情報共有が不足しており、情報システム化等の整備と業務の効率化を図る必要がある。
- ・業務内容を明確にし、かつ組織整備など意思決定システムを整える必要がある。
- ・学校運営に関する戦略を明確にし、人事計画やその方向性を明確にすることが急務である。
- ・組織規則や事業計画が希薄であり、社会情勢に合わせた見直しを検討する必要がある。
- ・組織における業務分掌の再検討と明文化を進めるための準備をする。
- ・学内規程・就業規則・業務マニュアルによる法令遵守の精神を養い、倫理・社会貢献など研修を通して個別対応の取り組みをしており、詳細な規定の整備や組織的な取り組みについては今後の検討課題である。

◇ 3 教育活動 総合評価 3.23

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.25
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.25
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.13
エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.25
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.38
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.13
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.50
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.50
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.38

コ	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.38
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.00
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.25
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか	3.13
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.75

(2) 現状および問題点と改善策

- ・教育課程編成内容の精査・実習設備等のリニューアル、職員の能力開発に力を注いでいる。
- ・資格取得等の指導体制、カリキュラムの改善と工夫をする努力をしている。
- ・資格取得等の指導体制として、基本情報技術者資格取得のための IPA の午前免除制度を積極的に利用している。
- ・「教育課程編成委員会」において、業界団体、企業、有識者の声を参考に、育成人材像や業界のニーズの変化に対し、柔軟に対応している。
- ・授業評価は、「学生からの授業アンケート」、「教員の自己評価、管理職による授業評価」を行っており、それらを総合して評価する体制を整え毎年実施している。
- ・教員の能力開発や専門分野の最新技術や知識の取得については、日常業務に追われ、組織的な取り組みが十分ではないので検討を進めている。

◇ 4 学修成果 総合評価 3.05

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	就職率の向上が図られているか	3.63
イ	資格取得率の向上が図られているか	3.50
ウ	退学率の低減が図られているか	2.88
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	2.63
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.63

(2) 現状および問題点と改善策

- ・「より良い就職先」のイメージとして大手メーカー系企業の求人開拓が必要である。
- ・各学科の目標資格を設定し、特別講座等、午前免除制度など組織的に指導体制を組んでいる。毎年その指導法の工夫改善に努めている。
- ・担任制による学習・生活指導、面接指導、保護者との密な連絡体制により、退学率の低減を図っている。
- ・卒業生の社会的な活躍及び評価・同窓会の有無など追跡調査が必要である。

◇ 5 学生支援 総合評価 3.28

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
------	--	----------

ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.88
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	3.63
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.88
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.00
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.25
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	3.25
キ	保護者と適切に連携しているか	3.63
ク	卒業生への支援体制はあるか	2.88
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.25
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.25

(2) 現状および問題点と改善策

- ・学内の合同企業説明会の実施や学内面接指導大会の実施など就職相談室と連携して計画的に指導を行っている。
- ・スクールカウンセラーの配置が必要とされる。
- ・一人暮らし支援制度、定期券半額負担制度、特待生入学制度（学業特待、資格特待、精勤特待、OC特典）、学費の分割納入など経済的に支援する制度が整備している。また、学生支援機構奨学金や国民金融公庫・県の奨学金、民間奨学金の積極的な推奨をしている。
- ・学校行事としてバスハイクや1泊2日の研修旅行、学園主催のスポーツ大会、希望者によるクラブ活動、ボランティア活動等を支援している。
- ・年2回の保護者宛ての発送文書（成績、出欠状況、資格取得状況）や担任制での電話連絡、面談、家庭訪問など密に連絡し、適宜三者面談等を実施している。
- ・高校生向けに模擬授業、情報処理対策講座、マイクロソフト社のMOS講座、プログラム講習会など行い、職業教育へ取組を行っている。

◇ 6 教育環境 総合評価 3.13

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
ア	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.00
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	2.88
ウ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3.50

(2) 現状および問題点と改善策

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されている。実習用設備は毎年実習室ごとに見直しを行い、定期的に検討している。
- ・希望する学生を対象に個別にインターンシップを実施している。カリキュラム内での組織的な取り組みは、期間や業務内容など受け入れる側の企業を現在模索中である。
- ・防災に関する計画書および災害時の行動マニュアルは整備してある。また 業者等による消防設備等の点検（年2回）や学生の傷害保険等の整備もしている。

◇7 学生の受け入れ募集 総合評価 3.46

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	3.50
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.50
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3.38

(2) 現状および問題点と改善策

- ・専門学校でのさまざまなイベントを時系列でHP上にトピックとして情報提供して本校の教育の取り組みや成果などを客観的に提供できるよう配慮している。
- ・「入学案内」のパンフレットや学園「ホームページ」、イベントとして「学校見学会」、[オープンキャンパス]において、教育内容を正確に伝える努力をしている。
- ・学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、他校の状況や経済状況から見ても、総合的に見て妥当な水準である。

◇8 財務 総合評価 3.59

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.75
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.75
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	3.38
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	3.63

(2) 現状および問題点と改善策

- ・各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入をせずに自己資金で賄ってきており、財務諸表の通り財政基盤は安定している。
- ・会計監査については、税理士の指導を受けながら会計処理を行った上で、公認会計士による外部監査、本法人の監事2名による内部監査を毎年度2回(5月と12月)実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。
- ・平成23年度より私立学校法の規定に従って、財務諸表等を作成し、理事会の承認を得て公開している。

◇9 法令等の遵守 総合評価 3.38

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.38

イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3.38
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.38
エ	自己評価結果を公開しているか	3.38

(2) 現状および問題点と改善策

- ・国・県に係書類を提出し運営許可を得ており、法令や設置基準に対しては、設置基準者が把握し遵守している。教職員に対しては法令の改正、新法令の制定などが発生する都度、研修会などとおして注意を喚起している。
- ・「個人情報管理規定」を策定し、個人情報の適正な管理運用に努め、保護に対する意識付けを強化し、定期的な注意喚起を行っている。
- ・自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、「学生による授業アンケート」などを加味しながら問題点を明らかにし、その対策および改善策を検討している。
- ・自己評価結果については、自己点検評価報告書を作成し、公開している。

◇10 社会貢献・地域貢献 総合評価 3.25

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.38
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.25
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.13

(2) 現状および問題点と改善策

- ・周辺地域の中学生へプログラマー職場体験学習の場として、学校の夏休み期間を利用して研修指導を実施している。また 高校生への模擬授業（情報処理対策講座、マイクロソフト社の MOS 講座、国家試験対策講座等）を行い、職業教育への理解関心を高める活動を行っている。
- ・ボランティア活動は、地域、各施設等からの要望や学生の申告をもとに、期間、活動内容の条件を満たし活動日誌や活動報告書の提出による条件を満たした場合学則上の選択科目として履修認定を行っている。また、水戸市の「地域活性化」として学生による学校周辺の清掃活動やイベントなどの積極的参加を奨励している。

◇基準 11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

以上

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20
